

事務事業名	英語指導助手 (AET・JTE) 配置事業			担当	教育委員会 学校教育課 教育政策係		
政策名	1	「人づくり」～豊かなこころアップ!～			<input type="checkbox"/> 総重 (総合計画重点事業)	<input type="checkbox"/> 総新 (総合計画新規事業)	
施策名	3	国際化に対応した教育			<input type="checkbox"/> 戦拡 (総合戦略拡充事業)	<input type="checkbox"/> 戦新 (総合戦略新規事業)	
関連個別計画				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		
法令根拠					<input type="checkbox"/> 毎年度実施 (開始年度 H1 年度～)		
予算科目	1. 一般会計	10. 教育費	2. 小学校費 3. 中学校費		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)		
事業概要	外国人の英語指導助手(AET) ならびに日本人の小学校外国語活動支援員 (JTE) を各小中学校に配置することにより、児童生徒の英語を使ったコミュニケーション能力を向上させるとともに、国際感覚を養う。						

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

① 手段 (主な活動)	④ 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標) の推移						
2年度実績 AETならびにJTEを各学校に配置し、担当教諭と共にチームティーチングによる指導を実施した。 ・AET: 小学校7名 中学校9名 ・JTE: 小学校6名 (小学校1・2年生: 年間10時間、小学校3年生: 年間35時間)	名称	単位	29 年度(実績)	30 年度(実績)	31 年度(実績)	2 年度(実績)	3 年度(見込)
3年度計画 AETならびにJTEを各学校に配置し、担当教諭と共にチームティーチングによる指導を実施する。 ・AET: 小学校7名 中学校9名 ・JTE: 小学校6名 (小学校1・2年生: 年間10時間、小学校3年生: 年間35時間)	ア 英語指導助手(AET) 数	人	10	14	16	16	16
	イ AET活動日数	日	200	199	197	201	199
	ウ 小学校外国語活動支援員 (JTE) 数	人	4	6	6	6	6
	エ JTE活動日数	日	291	380	602	610	610
	オ						
② 対象 (誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 市内小中学校児童生徒	⑤ 対象指標 (対象の大きさを表す指標) の推移						
	名称	単位	29 年度(実績)	30 年度(実績)	31 年度(実績)	2 年度(実績)	3 年度(見込)
	ア 小学校数	校	18	14	14	14	14
	イ 小学校児童数	人	4523	4491	4472	4383	4343
	ウ 中学校数	校	9	9	9	9	9
	エ 中学校生徒数	人	2342	2323	2270	2255	2222
オ							
③ 意図 (この事業によって、対象をどう変えるのか) AETならびにJTEを配置することにより、英語の学習効果を高めるとともに国際理解教育を推進する。	⑥ 成果指標 (対象における意図された対象の程度) の推移						
	名称	単位	29 年度(実績)	30 年度(実績)	31 年度(実績)	2 年度(実績)	3 年度(見込)
	ア 英語の学習効果が高まった児童生徒の割合	%	100	100	100	100	100
	イ						
	ウ						
	エ						
オ							

(2) 総事業費の推移		単位	29 年度(実績)	30 年度(実績)	31 年度(実績)	2 年度(実績)	3 年度(見込)
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	35,899	51,031	62,416	61,233
	事業費計 (A)	千円	35,899	51,031	62,416	61,233	63,027

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 市の政策体系に結び付き、社会環境や住民ニーズ等を考慮した上で目的は妥当か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地はない <input type="checkbox"/> 見直し余地がある (評価理由) 全小中学校にAETならびにJTEを配置することにより、英語の学習効果を高めるとともに国際理解教育を推進するもので、児童の「外国人とのコミュニケーション能力の向上」に結びつく。
	②公共関与の妥当性 市が事業に関与する必要があるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地はない <input type="checkbox"/> 見直し余地がある (評価理由) 児童の国際理解教育の推進や英語教育の充実は市教育委員会が行うべき事業であり、妥当である。
	③対象と意図の妥当性 ・1枚目の②「対象」③「意図」は適切か？ ・対象を限定・追加する必要があるか？ ・意図を限定・追加する必要があるか？	<input type="checkbox"/> 対象・意図を見直す必要はない <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある (評価理由) 全小中学校の児童生徒を対象としており、妥当である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるかどうか？ない場合の理由は適切か？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある (評価理由) 学校とAET・JTEとの連携を密にし、市教育委員会指導主事が指導方法の改善等について助言することにより、さらなる英語教育の充実を図る。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 ・類似事業はないか、統合や連携はできないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業と統合・連携ができる(類似の事務事業名：) <input type="checkbox"/> 類似事業と統合・連携できない(類似の事務事業名：) <input type="checkbox"/> 類似事業はない (評価理由) 類似事業はなく、統廃合・連携できない。
効率性評価	⑥事業費の削減余地 ・成果を下げずに実施主体の見直しによりコスト削減をできないか？ ・実施方法の適正化によりコスト削減をできないか？	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある (評価理由) プロポーザル方式で業者選定を行っており、ATEならびにJTE配置に係る必要最低限の事業費である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(<input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 課題、課題の克服の方向性 AETによっては文化の相違等により担当教員との連携が難しい場合がある。今後も学校や派遣業者、AETとの連携を密にし、指導主事による助言や指導を行っていく。																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							